【特定課題研究発表　募集要項】

1. 趣旨

全国大会における研究発表時の議論活性化を図ると同時に、論文の質的向上を目指して2019年の全国大会より「特定課題研究発表論文」制度を開始いたします。本制度では、毎年特定課題を2～3題設定し、特定の課題に対する多方面からの集中的かつ活発な議論がなされるセッション運営を展開します。それと同時に投稿された論文には、「講評」を実施し、発表論文の質の向上も図っていきます。会員の皆さまにおかれましては、どうぞ奮って投稿お願いいたします。

２．2019年の特定課題

　　課題１：まちづくりと当事者参加

　　課題２：まちづくりと住まい

　　課題３：まちづくりと交通

３．「講評」について

　投稿された論文に対し、事前に講評者1名が投稿者に対して「講評」を行います。「講評」の内容は、論文委員会において導入している査読項目をベースに行い、研究内容に加えて、投稿論文としての体裁などについても言及します。「講評」はあくまでも論文の質の向上を目的とし、査読付き論文へつなげるためのアドバイスを行うものですので、投稿論文は「査読付き論文」としては位置付けられません。改めて論文集へ投稿される際の参考にしてください。また、「講評」の結果は、大会時発表前に、投稿者およびセッションの司会者に返信しますが、司会者や講評者等がセッションで示すことはしません。また情報保障の観点から、原稿は修正せず発表当日は修正前原稿に即した内容で発表をお願いします。

発表後の質疑応答において、「講評」の内容をご紹介いただいたり、講評内容に関する質問が出されることを十分に想定し、議論の活性化・深化につなげていただくことを期待します。

４．セッションの運営方法について

・各特定課題にもとづくセッションは、司会者（セッションの司会進行）、オポーネント（発表論文に対する意見を述べると同時に会場での議論を喚起する役割を持つ）、発表者によって運営されます。

・１セッションにおける発表者の上限は３名程度とし、上限1時間半程度のセッション運営とします。

・発表者のプレゼンテーションは10分、その後の質疑応答は10分とし、別途セッション終了時に全体を総括した質疑時間を20分程度設けます。また、上記の通り、発表者は自身の研究発表の後、講評者からの「講評」に対しても見解を述べることができます。

５．原稿枚数および発表時間

・概要原稿：6ページ

・発表時間：10分

・質疑応答：10分

６．スケジュール

・登録期間：2019年4月1日（月）～4月22日（月）

・概要集原稿投稿期間：2019年4月1日（月）～5月10日（金）

・講評結果の返信：2019年7月1日（月）～順次

返信がない場合は大会ヘルプデスクまで問い合わせること

【問い合わせ先】

 日本福祉のまちづくり学会大会ヘルプデスク

E-mail: jais-desk@bunken.co.jp